

## 第 1 回中央委員会

組合の継承と団結強化へ  
経験を次代につなぎ、現場との架け橋に

挨拶をする奥執行委員長

2025年4月17日（木）の16時30分より、組合本部3階ホールにて2025年度第1回中央委員会が開催されました。議長選出までの間、藤野書記長が議長席に登壇し議事進行を行いました。まず初

2025年4月17日（火）の16時30分より、組合会館3階ホールにおいて、神戸交通労働組合2025年度第1回中央委員会が開催され、経過報告並びに、議長選出などの各議案について協議し、すべて満場一致で承認・決定されました。

めに、開会に先立ち、各支部の役員紹介を行い、その後、開会にあたり、奥執行委員長より、「新体制の発足にあたり、役員や中央委員に新たな顔ぶれが加わったことは大変喜ばしい一方で、これまでの制度や交渉経緯を知る人が少なくなってきたおり、組合としての継承が課題となっている。私自身、役員の中では最も古参となり、これまでの交渉経過や制度の背景を新たな役員へ伝える役割を担いたい。また、現場と役員の間で情報の断絶が起これば、執行部からの報告を確実に伝える体制の強化が必要である。組合活動は執行部だけでなく、ここに在るすべての役員が主体的に取り組み、現場職員との架け橋となつて全体

で推進していくことが重要。これからの1年間を通じて、知識と経験を積み重ね、組合全体の力を高めていこう」と挨拶がありました。

続いて、先決議案として、第1号議案「2025年度中央委員会議長選出について」の提案が行われ、田中中央委員（高速技術支部）と藤野中央委員（石屋川自動車支部）の選出が確認されました。なお、報告並びに第2号議案「2025年度犠牲者救援委員の選出について」、第3号議案「2025年度実行予算の執行について」に関しては、満場一致で承認されました。



議長に就任した藤野氏と田中氏

## 機関紙神交 読者投稿募集

読者投稿募集のお知らせ ～紙面づくりにご参加を！～  
日頃より『機関紙 神交』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。このたび、紙面をもっと身近に、そして楽しく読んでいただけるよう、読者の皆さまからの投稿を募集いたします！

## ■ 投稿内容の例

- 思わず笑った「ほほえましい出来事」
- 心に残った「感動した話」
- 職場でのちょっとした出来事
- 機関紙へのご意見・ご要望 など

内容は自由です。長さも問いません。お気軽にお寄せください！

## ■ 採用時の謝礼

投稿が紙面に採用された方には、QUOカード（1,000円分）を進呈いたします。

## ■ 投稿方法

以下の内容を明記のうえ、メールでご送付ください。

【宛先】 toukou@sinko.or.jp

【件名】 「神交 投稿応募」

【本文】

1. 所属
2. 職員番号
3. 氏名
4. 投稿内容

※紙面掲載時には内容を一部編集させていただく場合があります。

皆さまの心温まるエピソードや率直なご意見をお待ちしております！



# 4 年ぶりとなる第94回兵庫県メーデー神戸中央大会に参加！！



第96回兵庫県メーデー神戸中央大会会場

連合兵庫主催の「兵庫県メーデー神戸中央大会」が4月26日、神戸市中央区の大倉山公園で開催されました。晴天のもと、県内各地から約5000人（主催者発表）の組合員が集い、賃上げの一層の推進と恒久平和の実現に向けて、連帯を深めました。開会挨拶に立った那須健会長は、ウクライナやミャンマーで続く紛争に触れ、「平和は与えられるものではなく、自ら守り育てるもの。私たちに不断の努力が求められる」と語りました。

2025年4月26日（土・祝）の10時より、大倉山公園野球場内において、第96回兵庫県メーデーが開催されました。今年のメーデーでは、「次代につなぐ平和の願い！ みんなでつくろう 支え合う安心社会と確かな未来（あした）を！」をスローガンに、働く仲間が力を合わせて闘い抜くことを高らかに宣言しました。



ガンパローと力強く声を上げる組合員

現場からの声として、神戸交通労組の谷汰志青年委員長が登壇。不規則な勤務体系によって内定辞退が相次ぎ、深刻な人手不足に直面している実態を報告。「超過勤務が常態化する中、労働環境の是正と適正な人員確保を、当局に強く求めていく」と力強く訴えました。

また今期春闘について、「賃上げの流れは着実に進んでいる」と評価しつつ、「経済全体が好循環に転じるかどうかは、まさに今が正念場」と述べました。さらに、米国の関税政策が中小企業に与える影響に懸念を示し、「関係団体と連携し、賃上げの恩恵が広く行き渡る環境を整えていく」と意気込みを示しました。

## メーデー参加者

### 【本部】

坂倉、藤野、平尾、佐藤

### 【高速駅務】

清水、金澤、岡、藤山

### 【高速乗務】

石原、北城戸、春木、鎌田、伊藤あ、峯松、亀田、林田、西垣

### 【高速技術】

松本、真殿、林、新里

### 【車両】

水口、松本、水谷

### 【本局】

山本

### 【中央】

高石 徳田

### 【石屋川】

高島、東、井村、安場、北条

## 戦争をさせない、9条壊すな！

### 5・3兵庫憲法集会

#### 「9条を守れ」声響く 神戸で憲法集会に3500人

憲法記念日の5月3日、「戦争させない、9条壊すな！ 5・3兵庫憲法集会」が神戸市中央区・みなとのもり公園で開催されました。主催者発表でおよそ3500人が集まり、憲法9条の意義と平和の尊さを訴えました。

この集会は、県内の護憲団体で構成される実行委員会の主催によるもの。開会に先立ち、「9条の心ネットワーク」の羽柴修弁護士がマイクを握り、「パレスチナやウクライナなど世界各地で戦火が絶えない中、平和憲法を守り抜く決意を新たにしたい」と述べました。

続いて登壇したNGO「ピースボート」共同代表の畠山澄子氏は、国際的な視点から戦争と平和の現実を語り、「平和は自然に保たれるものではなく、意識的に守り続ける必要がある」と呼びかけました。

会場では「憲法9条を守れ」「戦争をさせない社会を」などの声が響き渡り、市民の平和への思いが共有されました。

神戸交通からも各支部から多くの組合員が参加し、憲法改悪反対を訴えました。



## 自治労兵庫本部神戸ブロック総会 岸まきこ議員と意見交換



岸まきこ参議院議員とZoomで意見交換をする様子

2025年5月7日(水)の18時30分より、神戸三宮において、2025自治労兵庫県本部神戸ブロック総会が開催されました。今回は、岸まきこ参議院議員とZoomでの意見交換を実施し、神戸交通からは藤野書記長が代表で意見交換を行いました。

北池事務局長の挨拶で始まり、長年議長を務められた五百旗頭さんから、退任の挨拶があった後、新役員の紹介があり、奥委員長が新しい議長に就任しました。つづいて、小原副議長の司会により、岸まきこ参議院議員がZoomで登場すると、各単組の書記長が要望を伝えました。神戸交通からは、藤野書記長が意見交換をし、交通職場の課題について訴えました。

## (公共交通の課題)

## ①担い手不足の解消にむけた賃金・労働条件の改善

2022年5月13日より、2種免許の取得要件が緩和され、最短19歳(普通免許取得後1年以上必要)で取得することができるようになっています。ただ、いくら制度を変更しても賃金・労働条件が悪いため、人が集まらないのが実情です。

民間事業者は、月給を安くして、長時間拘束することで、超過勤務で一定の給与水準を維持し、運行を続けてきましたが、2024年より、自動車運転手は960時間の上限規制が設けられたことと、勤務間インターバルを9時間設けなければならなくなることから、事業撤退する事業者が増加しています。

私たち公営交通は、各都市とも議会などで民間並みの給与水準にすべきと議論されることが多々あります。しかし、公営交通はその地域の足を確保するため、赤字路線でも運行しなければならぬ責務があります。福祉的な役割を担いつつ、独立採算で運行を続けなければならぬといった、この両面で事業運営を行っていかなくてはならないことに

大変苦慮しており、賃金水準が上がらない大きな要因となっています。

一方、民間事業者は、完全独立採算であり、赤字路線については、大幅な減便や路線の廃止などで工夫をしているものの、経営を維持するのが精一杯であり、給与が上がらない状況になっていると認識しています。

少子化で労働人口は減り続け、高齢者が増加していく社会の中で、地域住民の足となる鉄道やバスの担い手を確保するためにも、賃金・労働条件の改善にむけた取り組みに対してご支援いただきますようお願いいたします。

## ②国や自治体からの支援金制度の確立

地域の公共交通を維持していくために、公営企業や民間事業者問わず、赤字路線に対して、国・県・自治体などからの一定の補助が受けられる制度が必要なのではないかと思っています。

赤字路線だから、減便・撤退するのではなく、福祉施策の一環として、自治体がその運営費を補助しながら、地域の足を守ることが重要であると考えておりますので、国が中心となって、支援金制度の確立にむけた取り組みを進めていただきますようお願いいたします。

## 岸まきこ参議院議員回答

歴史的にみても他の産業に比べて賃金が低い



兵庫県本部の山下委員長から神戸ブロック旗の贈呈

規制緩和によって安かろう悪かろうになった

特に公共交通の賃金を安くしようとする流れがあった

交通に携わる労働者の賃金を上げていきたい

独立採算で物価高、燃料費の高騰で今の運賃形態では対応できない

運賃引き上げはなかなか難しいので国、自治体が補助を出していきけるよう働きかけたい